

令和6年度 第2回 アーバンデザインセミナー レポート

1 セミナー概要

日 時：12月11日（水）18時00分～

場 所：UDCBK

テーマ：「名産品開発×まちづくり」

講 師：株式会社滋賀のええもんや 井上修司 様

参加者：19名

＜セミナーの様子＞



2 当日の様子

今回のセミナーでは、滋賀県内で6次産業化や加工食品製造開発のプランナーを務めておられる井上氏に地域の名産品を活用した商品開発についてお話をいただいた。

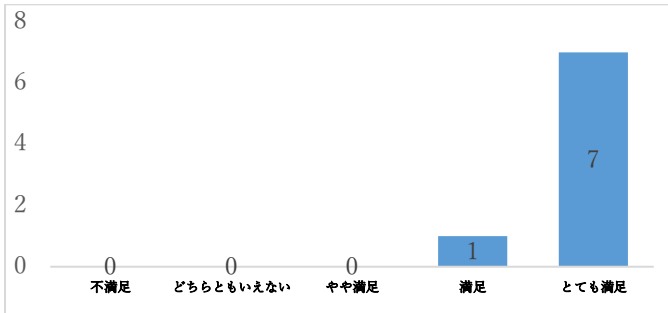
井上氏は「地産地消」「B品農産物」をキーワードに、滋賀県内の米や果物といった地域の名産品を活用した加工食品を数多く開発されており、それらの商品開発の中で着眼点や発想について紹介された。

参加者からは、実際に開発した商品の販売戦略や名産品と呼べるものがない中でどのように名産品や商品を創出すればよいのかという質問が多く寄せられ、井上氏からは、付加価値のつけ方、情報発信の戦略の重要性についてコメントがあった。

3 アンケート結果

1) 満足度

＜Q:セミナーの満足度を教えてください＞



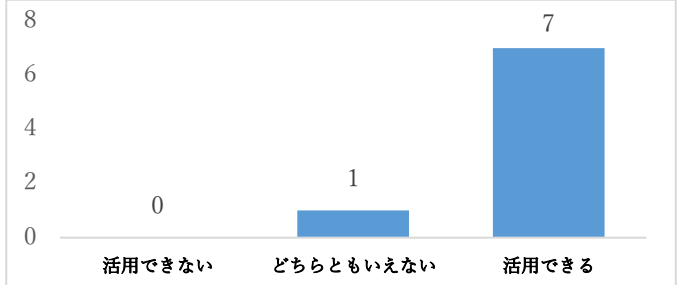
【コメント】

- 好きなことを突き詰め、自分の得意事で課題を解決する。諦めずにおもしろくできることを常に考える、ということが大切だと感じました。
- 特産品を作る際の視点の転換や発想、展開の仕方など参考になることがたくさんあった。また、今後の繋がりを持つきっかけとなった。
- 逆転の発想や、アイデアが素晴らしい事例を沢山お聞きでき、また会場の雰囲気作りや分かやすい話の仕方など、とても勉強になったし面白かった。
- 講義の内容が非常に興味深かった。特にコロナ禍での

観光土産から手土産への発想のシフトのお話が印象的だった。今まで知らなかった滋賀県の魅力を知ること、滋賀県のことがもっと好きになった。

2) 活用について

＜Q:セミナーの内容はまちづくりや私生活で活かせるものでしたか＞



【コメント】

■活用できる

- ストーリーが重要で、知っている人から伝えること。
- 社会課題をおもしろく解決する目線を持つとうと思います。
- 欲しくなかったものから欲しいに変わるきっかけ作り。発想力。戦略。
- 商品開発後の情報の拡散が課題でしたが、具体的なアドバイスをいただけてとても参考になりました。
- デザインやイラストの仕事をしているのですが、発想力やアイデアは重要だから。また、将来的に食にも携わりたいと思っており、食べ物のイラストを描いたり、キャラフード(コンセプトフード)を作ったりしているのですが、将来的に活かそうと思ったのと、まちづくりもまた面白さや発想力が必要だと考えるから。
- 新しいアイデアを創出するために、日頃から常に情報収集のアンテナを張っておくことが重要だと学んだ。このことは普段何気なく生活している中で「草津市はこんな良いところがあるな」を発見するのに活用できると思った。

■どちらともいえない／活用できない

- お土産屋さんという基盤やノウハウがあってこそその行動力や企画力に、うらやましくもありました。何も基盤やノウハウがない地域団体には、6次産業はやはりハードルが高いのかなと思いました。

4 まとめ

市内各地で名産品を活用したまちづくりが検討されており、また、その中で悩みが多いことを事前のヒアリングで把握しており、井上氏の商品開発や販売戦略の実例の紹介は非常に参考になったものと見受けられた。

また、セミナー後も草津メロンや愛彩菜など具体的な名産品について、適した加工方法・販売方法について、参加者が井上氏に相談をしている光景もあり、地域の商品開発への意欲や今後の連携に期待が持てるセミナーとなった。

アンケートにおいても、発想の転換により商品に魅力を持たせたり、いままで以上に戦略的に情報発信を行わないといけないとの意見が多くみられ、UDCBKとしても、情報発信の視点から南草津駅前の拠点のあり方として草津市内の魅力を発信するという新たな機能の必要性を感じる良い機会となった。